

令和6年度 採択事業一覧(公開審査会 7月7日(日)実施)

協働たねまる活動補助金

No.	団体名	事業名	事業概要
1	NPO法人 越前市障がいスポーツクラブ	外部指導者による総合型地域スポーツクラブの発展	越前市初のソーシャルフットボールクラブの立ち上げに際し、外部指導者を導入。指導方法を学びながら自団体の指導者を育成し、育成した指導者を他団体に派遣することで、市内の総合型地域スポーツクラブの交流による活性化や人材育成を図る。

地域貢献活動支援補助金(市民団体)

No.	団体名	事業名	事業概要
1	一般社団法人 武高37オレンジズ	UIJターン促進のためのSNS活用プロジェクト事業	<p>①ウェルビーイングを推奨し、普及活動を行っている専門家を招いて、ウェルビーイング構想の視点から、『広域地区の地域づくりの課題や可能性について』及びウェルビーイングに関する講演会を開催し、居住者や企業・団体関係者にPRする広報や普及活動を行う。</p> <p>②人生の転換期を迎える県外の若者に向けて、広域地区の居住者や企業の幸せ実感の生活スタイル等を紹介する動画等を作成し、Instagramで情報発信を行う。</p> <p>③活動に共感してもらえる地区内の団体・企業と連携を図り、団体・企業の広報(SNS)に掲載協力をポスター、チラシ等通じて依頼し、活動の輪を広げる。</p> <p>④UIJターン希望者からの地区内就職先企業を紹介する活動をサポートする。</p>
2	Fun Empathy (ファンエンパシー)	たけふを歩こう2024 ～まちなか今昔謎解き編～	<p>中心市街地を歩き、パンフレットを見ながら謎解きをしてもらう。謎解きの内容は中心市街地の昔と今の魅力(歴史や飲食店など)を伝えるものとする。</p> <p>また、謎を解きながら、各スポットで写真を撮ってもらい、謎解き体験の思い出を残せるパンフレットも作成してもらう。</p> <p>謎解きやポルトガル語対応パンフレットなどの新たな要素を加えたイベントを実施する。</p>
3	武生センター合唱団	武生センター合唱団 創立50周年記念第42回定期演奏会	<p>創立50周年を迎えることから、多くの市民の皆様と共に歌う合唱団を組織し、記念コンサートを行う。</p> <p>また越前市を中心に活躍する音楽家を招き、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を発表する。</p> <p>第1部は合唱団演奏、第2部では、みんなで歌いましょうのコーナーを設け、歌う楽しさを感じてもらう企画を実施する。</p>

地域貢献活動支援補助金(学生団体)

No.	団体名	事業名	事業概要(目的・内容)
1	ふくいSMILEアクティ部	高校生による越前市活性化事業	<p>越前市公認のVtuberユニットである「越前クロニクル」とコラボしたイベントを開催する。イベント内容は、福井県や越前市に関するクイズ大会や、ライブ、トークショー、ブース展示等。来場者に積極的にSNSで発信してもらうことで、市の魅力も県内外に発信し、Vtuberの周知につなげる。本事業をとおして、来場者に越前市の魅力をアピールすることで、越前市をより好きになってもらい、市外からの来場者には越前市の知らなかった魅力を知ってもらうことを目指す。</p>
2	仁愛大学 織田ゼミ	にじいろ絵本プロジェクト ーブックトークを通して学ぶ性の多様性ー	<p>近年、性の多様性に関する問題意識が高まっており、越前市でも同性パートナーシップ制度が導入され、小さいうちから性の多様性について知っておく必要がある。越前市で性の多様性に関する活動に取り組む団体へのヒアリングを行い、現状や課題を明確化する。また、先行事例の調査や性の多様性について知るための勉強会を行う。様々なLGBTQ+の問題に関する絵本の収集や展示する絵本のPOP作成など、子供とその親の性の多様性への知識の浸透に向けて、イベントを開催する。資料の展示やブックトーク、ワークショップを実施する。</p>
3	仁愛大学 野村ゼミ	家庭における災害食備蓄推進プロジェクト	<p>防災備蓄をしていない人に向けて、市販災害食の展示紹介や試食会を実施する。本事業を通して気軽に備蓄を始めてもらうことで、家庭での防災備蓄率の増加を目指す。また、市販災害食では食塩相当量が通常の献立よりも多いことがこれまでの調査で明らかになっており、災害避難中は塩分摂取過多になっていると見込まれる。災害時でも適正な塩分を摂取できるような減塩災害食を開発し、普及する。減塩災害食の試作・製造および試食アンケート調査を実施する。</p>
4	福井県立武生商工高等学校 電気情報科	クレーンゲーム製作と地域交流	<p>部品から全て自分たちで製作したクレーンゲームを越前市内のイベント(越前市ものづくりフェスタ、商工デパート等)に出店する。子ども達を中心に楽しんでもらうとともに、ものづくりへの興味を持ってもらうことを目的とする。クレーンゲームには独自のコインを製作し無料でプレイできるようにする。高校生でも製作可能という事を認知してもらい、ものづくりを身近に感じてもらい、将来の進路選択につなげる。</p>

5	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「伝統工芸品」	Hino・Quest Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその1「伝統工芸品の魅力を家族層に知ってもらおう share×link ～伝統と今を繋ぐ架け橋に～」	越前市で行われているイベントや団体と越前筆筒と越前和紙、越前うるしを組み合わせることで伝統工芸品の魅力を家族層に知ってもらおう。 小柳筆筒、越前和紙の里、越前うるしの里会館等でフィールドワークを行い、さしもの技術を学ぶ。 千年未来工芸祭にてさしもの技術を活かしたストラップを製作するワークショップを実施。 ワークショップ参加者に伝統工芸品の魅力について伝え、知ってもらうことで越前市との関わりを深めてもらう。
6	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「スイーツ×六条大麦」	Hino・Quest Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその2「スイーツを使った福井県産の六条大麦のPRのプランの立案と実践」	福井県は六条大麦の生産量が全国一位だが、それを知っている県民は多くはない。 知名度を上げるために、手軽で親しみやすいスイーツであるドーナツを福井県産の六条大麦を使用して作り、越前市内のイベント等で販売しPRする。 まずは学校祭の模擬店にて販売し、改良を重ねる。 その後は菊人形や越前たけふ駅の道の駅等でも販売し、訪れた人にPRする。 最終的には、県外の人にも福井県産の六条大麦を広めることを目指しているが、その前段階として、県内の人に六条大麦について知ってもらうために本事業を行う。
7	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「B級グルメ」	Hino・Quest Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその3「福井の特産品を使用した越前市のB級グルメ(ボルガライス)を広めよう」	県内外の人に福井県の食材の良さを知らせ、食べやすさ、美味しさ、面白さを取り入れたB級グルメを販売し、地域活性化につなげる。 ボルガライスをスティック状に加工した「ボールガライス」を開発し、提携先に製作を依頼する。 「ボールガライス」には紅しきぶ(トマト)、福地鶏の卵、コシヒカリ等、福井県産の食材を使用する。 たけふ菊人形にて出店し、購入者に福井県産の食材をPRする。
8	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「飲もっさ！食べよさ！楽しもっさ！with だるまちゃん」	Hino・Quest Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその4「飲もっさ！食べよさ！楽しもっさ！with だるまちゃん」	1年次に武生東高校生徒を対象に「将来越前市に住みたいか」というアンケート調査を行ったところ118人中81名が「いいえ」と回答した。理由の一つとして「楽しめるところが少ない」という意見に焦点をあて、同世代の自分たちが人気、親しみのある食材を用いて、楽しめる機会をつくり、交流、活性化に繋げる。越前市の中でも来訪者数の多いダルマちゃん公園を利用し、子ども、家族世代だけではなく、若い世代にだるまちゃんとふれあいがあうことができ、楽しめる場を提供する。 同世代に親しみのある食べ物、ハンバーガーとフラッペを組み合わせたメニューや、だるまちゃんをモチーフにした、食べ物につけるカップや旗を製作し、菊人形で販売する。